

市議会報告

2016年度の市民病院・水道事業会計について、日本共産党市議団が企業会計特別委員会で行った質疑をお知らせします。

病院 市民の生命と健康を守るために

福山市市民病院は、がんや重症患者の医療、救急や集中治療を担う中核病院として重要な役割を果たしています。

患者の入院期間を示す「平均在院日数」は、類似8病院の平均と比べ、0.6日短い11.3日です。

患者への負担増

- ① 紹介状なしに市民病院を受診した場合の負担が5千円(医科)に値上げ。影響人数は1837人、影響額は916万1千円。
- ② 入院給食費の自己負担

医療現場の多忙化

- ① 看護師の夜勤は、月平均8.6回、最高14回。
- ② 医師の残業時間は、年間870時間超が11人、最長は1060時間。

額が1食260円から360円に値上げ。患者の77%に影響(23%は低所得者減免制度の対象)。

附属神辺診療所の廃止

市民の生命と健康を守る者としての役割を發揮し、医療従事者が健康で安心して働ける環境の整備を強化するよう求めました。



消費税6億8千万円!

市民病院の消費税は昨年度6億8千万円に上り、経営を大きく圧迫しています。国に対し、医療機関の消費税の控除・還付の取組を強めることを求めました。

要望提出 高齢者と介護従事者の生活を守る

11月13日、市内の介護事業所が「福山市の介護予防・日常生活支援総合事業に対する要望書」を6848筆・6団体の署名とともに市長あてに提出しました。



12人参加＝市役所

水道 大雨対策の強化をー都市型災害の被害防止を求める

ゲリラ豪雨など局地的な大雨が多発するなか、都市部の浸水被害が課題の一つです。

福山市は、雨水を排出するための「雨水管」を地下に埋め、浸水防止工事を行っています。

の口径が小さく、1時間辺りの雨量は42mmまでしか対応できません。

しかも、工事の進捗は53%で完了時期も「未定」との答弁でした。早く工事を完了させるよう求めました。

少しでも被害の軽減を

都市化に伴う田畑の減少により、土地の保水能力が低下しています。下水道

の整備だけでは排水が追いつかない恐れがあり、可能な限りの対策を積極的に進めるよう求めました。

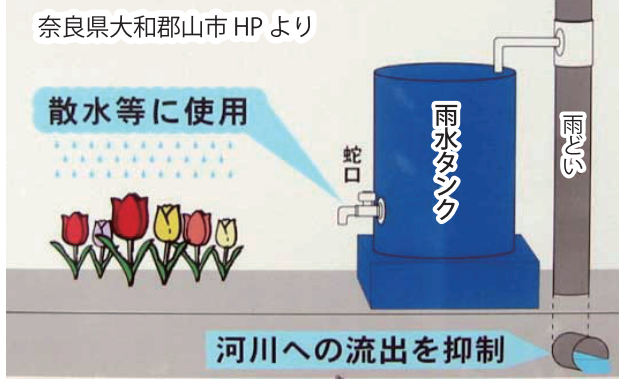
少しでも被害を軽減するため

雨水タンクは、建物の

屋根に降った雨を貯めます。庭木への散水や雑用水として利用でき、大雨時には河川への流出を抑制する効果があります。

止水板は、あふれた雨水が建物や地下へ浸水するのを防ぎ、土嚢より軽く持ち運びに便利です。

市もその効果を認め、



奈良県大和郡山市 HP より

散水等に使用

河川への流出を抑制

日本共産党 議員団 NEWS

発行 日本共産党福山市議会議員団
広島県福山市霞町3-4-25 401
電話・FAX 084-92222815

村井あけみ 高木たけし
土屋ともり 河村ひろ子

護現場の経営と人手不足は深刻な状況にあります。参加者は「労働に値する賃金が支払えず人が集まらない」「人手不足のために、新しい人を充分育成できず定着が困難」と厳しい現状を訴え、市独自の補助の創設等を要望しました。切実な現場の声を市政に反映させるため、党市議団も全力を尽くします。